

## 児童・生徒等の心のケア

児童・生徒等は災害により様々な強いストレスが加わると、種々の心の問題を呈する。例えばPTSD等の症状が現れてくることが懸念される。ただ、その内容と特徴は、子供の年齢によって異なる。また、災害の被害状況によっても異なる。

そのため、学校は、児童・生徒等の実態を踏まえ、学校の設置者、保護者、学校医、スクールカウンセラー、医療機関等と協議、連携して、児童・生徒等の心の健康保持あるいは回復を図るための対策等に係わる計画を定めておく必要がある。

### 参 考

#### 計画作成に当たっての参考資料

「防災教育のための参考資料「生きる力」をはぐくむ防災教育の展開（平成10年 文部省）」、「非常災害時における子どもの心のケアのために（平成10年 文部省）」、「同改訂版（平成18年 文部科学省）」、「子どもの心のケアのために 一災害や事件・事故発生時を中心に」（平成22年文部科学省）」等ある。

### 参 考

#### PTSDとは・・・

心的外傷後ストレス障害（Post Traumatic Stress Disorder）のことで、抑うつ状態、強度の不安や興奮、喪失状態など大規模災害等、通常経験することのない耐え難い出来事に直面した後に見られる精神症状をいう。

#### PTSDの特徴

- ・ 災害の夢や怖い夢をみる。
- ・ 災害のことを思い出すような動作や遊びを繰り返す。
- ・ 突然、災害のことを思い出したり、頭に浮かんできたりして怖さを感じる。
- ・ 災害を思い出すようなことがあると緊張したり、ドキドキしたりする。
- ・ 災害のことを思い出したくない。
- ・ かんしゃくを起こしやすい。

#### PTSDへの対処法

- ・ PTSDについての教職員の研修を促進するとともに、児童・生徒等に対してPTSDについての正しい知識を持たせる。
- ・ 家庭訪問等により児童・生徒等と接する機会を増やす。
- ・ 養護教諭を中心に健康相談を実施する。
- ・ 児童・生徒等に話を聞く際は、共感的態度で辛抱強く聴くようにする。
- ・ いたずらに児童・生徒等に絵や作文を書かせることは慎む。
- ・ 遊びと運動を増やし、家族、学校、地域社会での人間関係を良好にする。
- ・ 子どもに何か気になる行動や情緒的反応が認められても、子どもが心配していなければその問題を積極的に取り上げない。
- ・ 専門的な精神的ケアを必要とする場合は、専門家に相談する。

#### 参考文献

- 「学校の地震防災対策マニュアル（改訂版）」（平成21年1月静岡県教育委員会）  
 「非常災害時における子どもの心のケアのために」（平成10年3月文部科学省）

**時系列による影響の特徴とその対応**

